



玄関南のかりんの花 今、咲いています！

新大学入試制度について その1

大きな変更点は二つです。

① 「センター試験」と呼ばれていたテストが「大学入学共通テスト」となります

どの教科においても今までと出題傾向が変わる部分があります。今までの過去問を解くことに加えて、新傾向問題への対策が必要です。特に英語の出題は長文読解 100 点リスニング 100 点の合計 200 点となるのは大きな変更点です。どの教科も「設定平均点を5割とする」言われていますから、平均点が6割だった、今までのセンター試験より難化します。3年生の皆さんは、昨年度2月に受験した、進研 大学入学共通テスト早期対策模試の結果を振り返り、自分の弱点をはっきりさせるところから対策を始めましょう。

大学入学共通テストは国公立大学志望者だけでなく、私立大学志望者にとっても重要なテストです。私立大では「共通テストの結果のみ」「個別試験+共通テストの結果」という受験パターンもあります。その場合、2教科型や3教科型などの入試になりますから、得意科目が活かれます。

② 推薦入試などの名称と時期・内容が変わります

AO入試は「総合型選抜」に。出願期間は9月以降、合格発表は11月以降です。

推薦入試は「学校推薦型選抜」に。出願期間は11月以降と現行通りですが、合格発表は12月以降です。調査書や推薦書に加えて、各大学が小論文やプレゼンテーション、口頭試問、実技、教科のテスト、または共通テストのうちいずれか一つを必須とします。

新入試制度一覧		
	特別選抜	一般選抜
国公立大	「総合型選抜」 「学校推薦型選抜」 ○公募制推薦 (一般推薦/特別推薦) ○指定校推薦 ○地元枠推薦	1次試験 共通テスト試験 2次試験 (=個別学力検査) 「分離分割方式」
公立大		前期 中期(一部の公立大) 後期
私立大		○共通テスト利用方式 ○個別試験

